



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ
yosie-820aug@purple.plala.or.jp



岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

弱いひと 困っているひとの味方—直線の共産党

困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

裾野市議会3月定例会日程表

4日(水)午前9時	総務委員会	予算審査(企画部)
5日(木)午前9時	〃	〃(議会事務局、総務部、監査委員会事務局)
6日(金)午前9時	〃	〃(市民部)
9日(月)午前9時	厚生文教委員会	〃(健康福祉部)
10日(火)午前9時	〃	〃(健康福祉部、教育部)
11日(水)午前9時	〃	〃(教育部子ども教育課、学校教育課他)
12日(木)午前9時	産建水道消防委員会	〃(消防本部、水道部)
13日(金)午前9時	〃	〃(建設部)
16日(月)午前9時	〃	〃(産業部)
17日(火)午前10時	本 会 議	一般質問(1番～4番)
18日(水)午前10時	〃	一般質問(5番～8番)
23日(月)午前10時	〃	一般質問(9番～12番)
24日(火)午前10時	〃	一般質問(13番～16番)
26日(木)午前10時	〃	委員会での予算審議の結果を委員長が報告し、質疑・討論・採決を行います。
26日本会議閉会后	全員協議会	

一般質問 登壇予定(敬称略)

17日(火) 内藤法子、井出 悟、芹澤邦敏、土屋秀明

18日(水) 二ノ宮善明、三富美代子、賀茂博美、中村純也

23日(月) 小林 俊、**岡本和枝**、小田圭介、杉本平治

24日(火) 廣瀬主博、**岩井良枝**、杉山茂規、杉本和男



岡本和枝議員は23日(月)午前11頃から、岩井良枝議員は24日(火)午前11時頃からの一般質問です。次に紹介する一般質問は「質問通告書」から抜き出したものです。

岡本和枝議員の一般質問

1.生活困窮者自立支援法の施行と支援体制について

任意事業である「就労準備支援事業」

「一時生活支援事業」「学習支援事業」などと、必須事業である「自立相談支援事業」が連携することで、生活困窮者を真に支援できる仕組みになるのではありませんか。見解を伺います。

自立相談支援事業には、生活保護申請

への助言や適用の義務は明記されていません。この生活困窮者自立支援法の中の事業を利用している人については、生活保護を満たしている人については、生活保護は受給できるのではありませんか

2.医療費一部負担金の減免

これまで医療費一部負担金の減免実績がほとんど有りません。原因・問題点をどのように捉えていますか。生活保護基準の引き下げで、減免基準が切り下げられてしまいます。今後の対応をどのように考えていますか。

岩井良枝議員の一般質問

1.市民意識調査の結果について

市では毎年「市民意識調査」を行っています。その内容はその時々、施策への意見を聞くものとなっていて諸施策推進の



ための基本資料として活用すると記されています。内容等について伺います。予算の使い方について、市民の方が評価させていること、不満に思っていることを設問に入れ具体的に把握をすることが必要と考えますが、いかがか伺います。

2. 3歳児幼稚園入園抽選問題 早期解決と子育て世代応援を

3歳児は集団生活の中で物事の善悪、社会のルール、子ども同士の関わり方などを覚えていく大切な時期です。抽選ではなく希望する全ての子どもが幼稚園に入園することが必要と考えますが見解

をお伺いいたします。

現在、西幼稚園の通学範囲が広すぎる状態です。西幼稚園の入園希望増、災害発生の危険性が高まっていることなども考えると、南地域に幼稚園設置が必要と考えます。市の重要施策「子育て世代応援」の観点からどうお考えになるか伺います。

**高村市政の2015年度当初
予算案から見えてくるのは
財政あるのに市民負担増!!
これでいいのか?!**

2月24日に裾野市議会3月定例会が開会し、高村市長から2015年度当初予算案が提出されました。

高村市長は、「国内の経済動向を反映して、法人市民税収の大幅な増収を見込んでおりますが、法人関係税制の見直しや海外景気の動向など、市税収入の動向は必ずしも楽観できるものでは有りません。……定住人口の増加、企業立地維持などの将来投資事業を継続しながらも、ひとづくりなどどの将来を見据えた事業にも重点を置いた、メリハリのある予算として編成した」としています。(予算大綱から抜粋)

本当にそういう予算になっている でしょうか？ 見てみましょう。

一般会計の総額は202億500万円で、前年当初予算に比べ5億9,500万円の増。収入のうち、個人市民税は32億7,200万円(前年より1,7パーセント増)、法人市民税は15億1,025万円(去年は8億

50 万円で 88、7 % の大幅な増収) で、2015 年度は財政力のあるとされる『不交付団体』の見込みです。

財政調整基金(貯金)の取り崩し額は、2015 年度は 8 億 1,858 万円を予定。前年度当初予算より 5 億 5,216 万 5 千円少ない額です。

地方消費税交付金(人口などに応じて市町村に交付されるもの)は 10 億 5,000 万円。前年より 3 億 4,000 万円増えました。

法人市民税はおおまけに減税 しかし市民の負担は大負担増

これだけの財政力があり、企業へは減税(昨年 10 月から法人市民税率が 12.3% から 9.7% に引き下げ。その結果 1 年間で 3 億 3,000 万円の減収の見込み)をしながら、市民へ社会保障等の大きな負担を求めることは納得できません。

市民にとっては消費税増税や社会保障制度の改悪の中で、負担が増える一方です。2015 年度当初予算案の中でも、国保税や介護保険料の引き上げ、給食費の値上げなどの負担増があります。

『受益者負担』の名の下で、市民に経済的負担を求めるのではなく、税金は市民生活を守るために使う。もっと直接的に還元する考えが必要です

**2月26日 高村市長提案の
議案への「修正案」が11対
8で可決!! 裾野市議会で
「修正案」可決は初です!!**

修正案の発議者は賀茂博美議員、増田

喜代子議員、杉山茂規議員、井出悟議員、中村純也議員。

議案の内容は、「裾野市議会議員の議員報酬を、『議長は 37 万 5,000 円を 38 万円』に『副議長は 33 万 5,000 円を 34 万円』に『委員長は 32 万 5,000 円を 33 万円』に『議員は 31 万 5,000 円を 32 万円』にそれぞれ改める。附則として、条例が可決されたら平成 26 年 4 月 1 日にさかのぼって引き上げ分を支給する」というものでした。

特別職等(市長・副市長・教育長)や市議会議員の報酬額は、裾野市特別職報酬等審議会で審議され、その結果を市長へ『答申』します。今回の特別職報酬等の額についての答申は、今年の 2 月 3 日にされました。

また、昨年 10 月に議会の改選があり、4 月にさかのぼ



の報酬の支払いの意義は見当たりません。

生々しい市議会の動きです テレビ 実況中継が市役所1階ロビーで見 られたらいいと思いませんか?

修正案の提案理由は「報酬額の改正は、裾野市特別職報酬等審議会の答申を尊重するものであり、適用時期については答申を受けた後とすべきであるため」です。

採決結果は、11 対 8 (議長は採決に加わらない。1 名インフルエンザで欠席) で可決されました。

共産党議員団(岡本和枝・岩井良枝)は修正案に賛成しました。

同時に、3 月議会の一般会計補正予算

として提案されていた、「平成 26 年 4 月 1 日に遡っての引き上げ分の議員報酬額・126 万円」を削除し、削除した金額を予備費に入れる修正案も可決しました。

これまで修正案を出してきたのは 日本共産党裾野市議団だけでした

共産党議員団として、これまで市民にとって良くないと判断した議案に対しては、修正案を提出したり反対討論をして採決に臨んできました。結果は、議会の中の少数意見として、数の力では否決されてきました。

しかし、今回の修正案提出に、議会改革の流れが一層強まった感じがします。

一方、今回の報酬審議会の答申で、議員定数についての言及がありますが、『まず削減ありき』の論議で、議会改革＝定数削減としか捉えられていません。

いま論議しなければならないのは、コスト論で定数削減を求めることなく、裾野市議会独自の考えを求めて議会改革のための『特別委員会』をスタートさせました。

みなさんと大いに論議していきたいと思っています。

もっと市民の声を聞いて!! 深良用水特別展示事業

3 月議会の一般会計補正予算に、深良用水特別展示室整備事業 279 万 5,000 円、文化センター展示室改修工事 184 万 3,000 円、計 463 万 8 千円が計上されました。

これは議会開会前に厚生文教委員会

(岩井良枝所属)へ、昨年かんがい施設遺産に登録された深良用水の資料を文化センター 2 階展示室の一部に移設・展示をするためと説明されたものです。

しかし、他に替えの利かない展示室の面積を狭めることの問題、そして何より市がこの計画を進める上で文化センター展示室を利用している団体などに何の説明もしていないことがわかり厚生文教委員会で問題となりました。指摘を受け、市は裾野市文化協会に説明をしました。

裾野市文化協会では、あまりにも突然の話であり、展示室が文化・芸術発信の大切なスペースであり、今でさえ狭いことから受け入れがたいとして代替案も示し、市長への要望も行いました。

市は 4 月の「深良用水まつり」に合わせ開館したいという思惑から計画を進めようとしていますが、1 年前から市民文化センター 2 階展示室の予約を入れている団体の把握・説明も十分にされていません。時間をかけ計画を立てたとは言いがたい状態で市民の声を聞く姿勢を持たないことは大いに問題です。

2 月 26 日の補正予算審議の中で、この件について小林俊議員と私・岩井良枝が質疑をし、小林議員が反対討論を行いましたが、賛成多数で可決されてしまいました。



反対は小林議員と日本共産党裾野市議団（岡本かずえ、岩井よしえ）の計 3 人でした。